

# 平成20年度「小中高 夢のかけ橋推進事業」実施報告書

東京都立羽村高等学校

全日制課程

## 1 計画の概要

- ① 近隣小学校（羽村市立松林小学校）とのボランティアを通じた交流
  - ・ 羽村市の花いっぱい運動に参加し、松林小学校の児童と本校生徒が花の植え付け作業を行う。
- ② 異校種の生徒との学校行事を通じた交流（松林小学校及び都立羽村特別支援学校）
  - ・ 特別支援学校の生徒を本校の文化祭に招待して企画や催し物を説明したり、文化祭に互いに作品を出品したりして交流する。
  - ・ 7月に近隣の小学校で行う下校安全を呼びかけるポスター作成に本校美術部生徒が協力する。

## 2 実施内容

- ① 花の植え付け作業を羽村市立松林小学校の児童と本校生徒で行った。作業しながら楽しいひとときを過ごし交流した（5月及び11月、右写真）。
- ② 羽村特別支援学校の生徒を文化祭に招待して企画や催し物を案内した。また、本校と特別支援学校とが互いに文化祭に作品を出品して交流を行った（9月）。また、本校美術部の生徒が近隣の羽村市立松林小学校を訪問し、児童と共に下校の安全を呼びかけるポスター作成に参加し、その際、小学生にアドバイスを行うなど交流した（7月）。



## 3 成果と課題等

### 【成果】

- ① 生徒は児童と共に作業し、教えることで高校生の自覚をもち行動する態度を身に付けた。
- ② 異校種、異年齢の生徒と触れ合うことによって、人との接し方や思いやりの心、謙虚な心を学ぶことができた。また、美術部の生徒は小学校児童と接し、描く技法（筆使いや構図）のアドバイスなどをすることで、高校生の自覚と教えることの難しさを学んだ。

### 【課題】

連携先の学校との時間調整が難しい。

異校種間の児童、生徒との交流の難しさの一つは、それぞれ学校生活の時程が違うので一緒に活動する時間の設定が難しいことである。